

△くまの議会だより



毎日がときめき 夢中
心がうごく体験を!

令和7年
3月定例会

筆の都くまの



熊野町観光大使 ふでりん

主な内容

- 令和7年度予算
- ズバリ町政を問う!
- 頑張る保育現場

第134号
2025.5.1

熊野町議会のホームページから、本会議の会議録や議会中継をご覧ください

発行 ● 熊野町議会 〒731-4292 広島県安芸郡熊野町中溝一丁目1番1号 TEL(082)820-5630 FAX(082)855-4520

議会の情報は、熊野町ホームページから。 <http://www.town.kumano.hiroshima.jp> E-mail:gikai@town.kumano.lg.jp

編集 ● 議会広報特別委員会

熊野町に住み続けたいまちづくりの推進

令和7年度当初予算を可決 一般会計 過去最大の119億8千万円 （前年度比 17.2%増）

3月定例会

3月定例会は、3月4日に開会し3月7日に閉会しました。町長の施政方針が示され、上程された令和7年度一般会計当初予算案など慎重に審議し、26議案いずれも原案通り可決しました。
一般質問では、6人の議員が町政の課題などを質しました。

主な事業をピックアップ

ふるさと納税事務事業



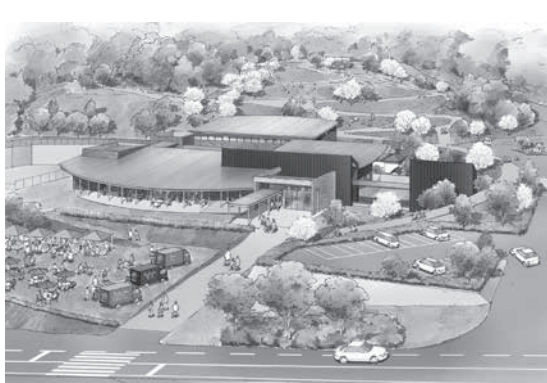
PRや寄付の受納、返礼品の贈呈
町内事業者の支援（寄付見込み額3億900万円）
1億3,591万5千円

小学校大規模改造事業



熊野第三小学校南校舎（改築）
熊野第一小学校特別教室エアコン設置
6,203万9千円

筆の里工房周辺整備



体験交流施設、調整池の整備
7億8,621万6千円

定住交流の促進



地域おこし協力隊による町の魅力発信
1,448万1千円

防犯カメラ等設置補助金



防犯カメラや録画機能付きインターフォンの
設置に補助率1/2（上限3万円）
311万7千円

若年層の移住定住の促進



子育て世代「住むならくまの」応援事業
1,800万円（昨年と同額）

町道萩原線新設事業



阿戸別れ交差点と矢野安浦線バイパス
を結ぶアクセス道整備
2,100万円

※記事中の金額は四捨五入してあります。

令和7年度予算会計別総括表

(単位. 万円・%)				
会計名		令和7年度 当初予算額	前年度比較	
			増減額	増減率
一般会計		119億7953	17億6153	17.2
特別 会計	国民健康保険	22億8423	△5382	△2.3
	後期高齢者医療	10億1729	4719	4.9
	介護保険	24億8715	435	0.2
企業 会計	下水道事業	11億6917	3690	3.3
合計		189億3738	17億9614	10.5

CHECK

令和7年度 当初予算



3月5日から7日までの3日間、議員全員で構成する予算特別委員会を開催し、令和7年度予算案の審議を行いました。

【歳出】

人事管理事業

会計年度任用職員の再任用の上限が廃止される動きがあるが本町は。

【総務部次長】

本町の上限は4回で最長5年勤務できる。その後、再度採用試験を受けることもできるが、今後、他の市町の動向を調査していく。

新名物開発支援事業補助金

令和5年度に行われたコンテストで5品程商品化されたが、継続して販売している事業所はあるか。

【産業観光課長】

2事業所が継続されているが、材料の調達等が難しく、スポット的にしか提供できなくなったとの声も聞く。

生活保護支援事業

来年度の予算が減額されているが、理由は。また、外国人への支給はあるか。

【健康福祉部次長】

医療扶助費の支給額減少が主な理由である。また、5世帯の外国人に生活保護費を支給している。

老人福祉一般事業

熊野町シルバー人材センターに初めて補助金が予算計上されているが、どのような経緯で何に使うのか。



▲予算特別委員会

【高齢者支援課長】

会員数が100名を超え国の基準に達したことから補助金が下りることとなった。人件費や管理費にあててもらう。

個人カード関連事務事業

マイナンバーカードの交付率と保有率は。【住民生活部次長】
交付率は94.9%で県内2位となっている。保有率とは死亡された方を除いて現在保有している方で、87.1%となっている。

廃棄物収集運搬事業

ゴミステーションに固定式ゴミボックスが設置できない場所に、折りたたみ式ゴミボックスの使用を考えているとのことだが、条件は。【生活環境課長】
道路に置くということで、警察との協議が必要となる。その他、常設でないため、使用しないときは折りたたむことなどの管理や交差点付近には置かないことが条件である。



▲折りたたみ式ゴミボックス

予算と事業をチェック!

社会体育一般事務事業

夏休みに外部施設でのプール開放を始めるとのことだが、今後の進め方は。また、保護者負担は。

【教育部次長】

呉市焼山のプール施設に委託し、送迎や指導を行ってもらうことなどを、今PTAや学校関係者等で作るプール開放運営協議会で協議している。



▲小学校プール

郷土館管理運営事業

屋根の修繕作業は完了したが、他の修繕箇所の把握はできているか。

また、イベント等をして活用の幅を広げることは考えられないか。

【教育部長】

修繕箇所等は今調査を行なっている。土日祝の開放のみだが有効に活用できる取り組みを考えていく。



▲郷土館

保育所等運営事業

原油価格・物価高騰に対し保育園に支援を行うということだが、老人福祉施設や障がい者施設への支援は考えているか。

【健康福祉部長】

検討はしたが、財源に限りがあるので今回は保育所のみとなった。

社会福祉一般事務事業

民生委員のなりて不足が問題になっている。民生委員の人数は

【健康福祉部次長】

現在、定員48名に対し、欠員3名となっている。

社会体育施設管理事業

新しく体育館内にラインの焼き付け作業を行ったが、ソフトテニスのラインが引かれていない。理由は。

【教育部長】

12月に完了している事業だが、設計上で調整の不備があった。テープを貼ることで対応する。今後は気を付けていく。

緊急通信体制等整備事業

事業の詳しい内容は。

【高齢者支援課長】

一人暮らしの高齢者や障がい者に対し、貸与された緊急ボタンを押すと、警備会社や救急要請につなげていく。また、月に1回の訪問や安否確認等も行っている。

3月定例会こんなことが決まりました

令和6年度一般会計補正予算（第4号）を可決

歳入・歳出とも1億8,192万円の減額 総額109億4,434万4千円に

主な補正予算

ふるさと納税（基金事業）



ふるさと納税などの積み立て
1億6,370万3千円

保育所等運営事業



保育所等に支払う公定価格の改定に伴う増額
4,167万5千円

障害者総合支援事業



障害福祉サービスの利用者の増加
2,669万2千円

出産・子育て応援交付金



申請者の増加に伴う給付金の増
210万円

人権擁護委員の候補者を決定（諮問第1号・2号）

6名の人権擁護委員のうち、2名の任期が6月30日で満了することに伴い、新たな委員を適任であると判断しました。

なかやま さぶろう
◎ 中山 三郎 さん（新宮）

うえだ よしのぶ
◎ 植田 義信 さん（石神）

人権擁護委員とは…

市町村長の推薦を受けて法務大臣が委嘱するもので、地域の皆さんから人権相談を受け、問題解決のお手伝いをしたり、法務局と協力して人権侵害を受けている被害者を救済したり、地域の皆さんに人権に関心を持ってもらえるような活動を行う人。任期は3年間。

熊野町職員の初任給増額へ

職員の給与に関する条例の一部改正条例案（議案第4号）

県内で最低水準の現行の額を4月から周辺自治体と同水準に改め、人材の確保につなげます。改正に伴う影響額は年約1,400万円。

■初任給の改正

	現 行	改正後
大学卒	1級 21号（213,600円）	1級 29号（225,600円）
短大卒	1級 13号（201,000円）	1級 21号（213,600円）
高校卒	1級 5号（188,000円）	1級 13号（201,000円）

■在職者の調整

初任給の引き上げに伴い、新規採用者の初任給が在職者を追い越さないための調整措置を講じる。

国民健康保険税が引き上げられました

熊野町国民健康保険税条例の一部改正条例案（議案第6号）

国保加入者1人あたりの医療費の増額等の影響により、現行の保険税率では県が示す1人あたりの保険税必要額を賄うことができないことから、引き上げるようになりました。

※令和7年4月1日から実施

■モデル世帯における国保税額の比較

夫：43歳 年収400万円
妻：40歳 年収100万円
子：男8歳 女7歳

（単位：円）



	現 行	改正後	比較増減
基礎課税額（医療分）	318,800	333,900	15,100
後期高齢者支援金等課税額	100,500	109,000	8,500
介護給付費課税額	70,200	78,400	8,200
合 計	489,500	521,300	31,800

（仮称）筆の里創造の丘公苑観光交流施設・新築工事請負契約の締結

（議案第15号）

【工事の内容（構造・延床面積）】

木造2階建て約2,300㎡

創作体験スペース、アトリエ、多目的ホールなど

【契 約 金 額】7億7,660万円（税込）

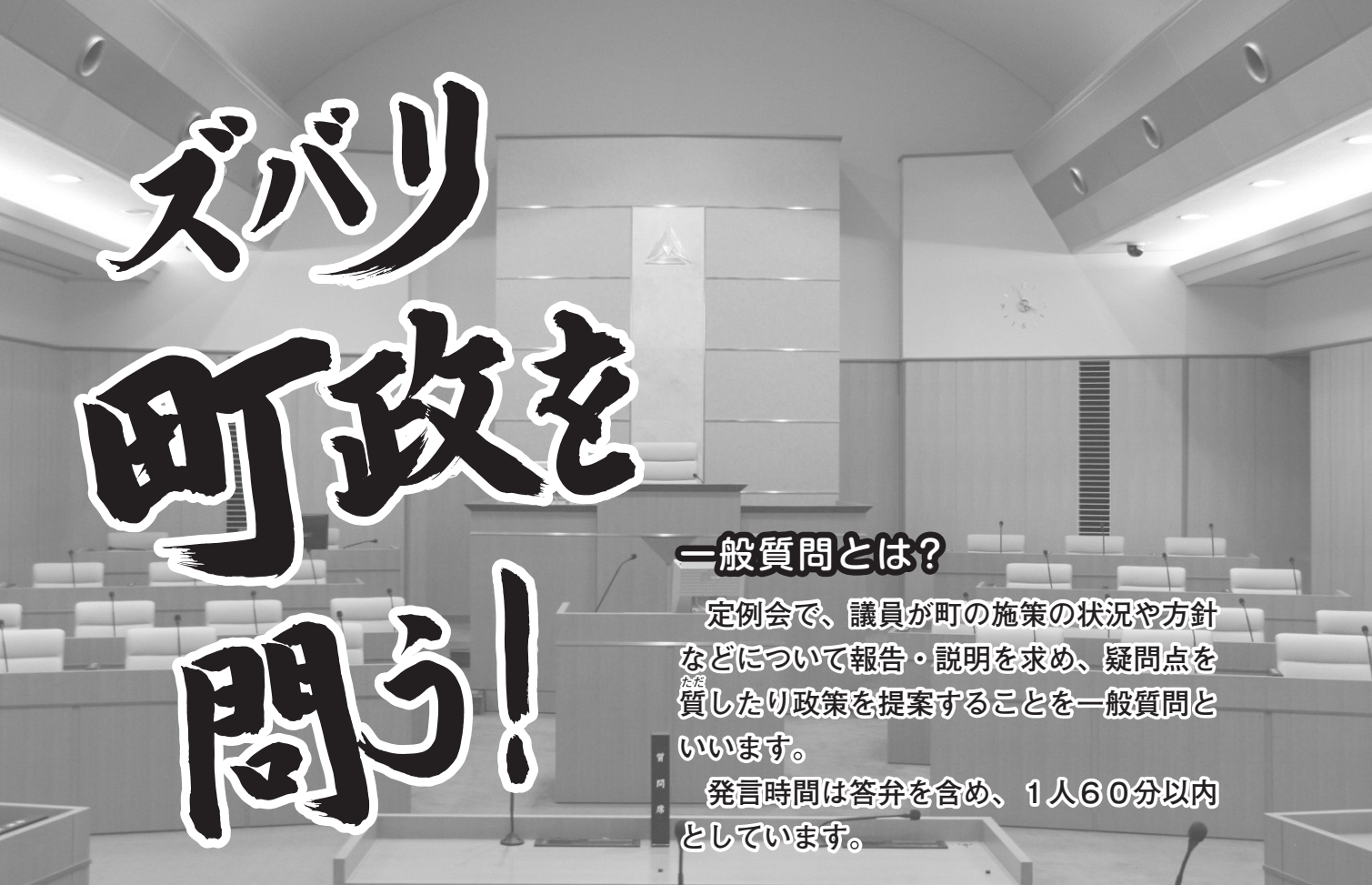
【契約の相手方】河井建設工業株式会社（広島市西区）

【工 期】令和7年5月26日から令和8年5月25日まで

【供用開始時期】令和8年度の上半期を予定



▲観光交流施設イメージ



一般質問とは？

定例会で、議員が町の施策の状況や方針などについて報告・説明を求め、疑問点を質したり政策を提案することを一般質問と^{ただ}いいます。

発言時間は答弁を含め、1人60分以内としています。

ページ	質問者	質問事項
9	藤本 健太 議員	1. 防災・減災に対する備えは 2. 子ども議会開催は
10	中島 数宜 議員	1. 家庭用防犯カメラ設置に伴う補助金は 2. 消防屯所 ^{とんしょ} の維持管理の現状は
11	世良 将生 議員	1. 熊野町の人口の推移と対策は 2. 安全・安心まちづくり事業補助金とは
12	大瀬戸 宏樹 議員 水原 耕一 議員	1. 待機児童と保育現場の現状と課題、その施策は 1. 災害対策の進捗状況は
13	沖田 ゆかり 議員	1. 大原ハイツ避難路隣接町有地の整備を 2. 女性支援の充実を

※紙面の関係により、質疑の一部のみを掲載させていただいています。
また、分かりやすい紙面にするために、趣旨が変わらない程度の編集を行っています。
なお、熊野町議会のホームページ(<http://www.town.kumano.hiroshima.jp>)から、一般質問の全ての内容を視聴することができます。

Q 防災・減災に対する備えは

A 町 長

まち全体が協働し、災害に強いまちづくりをめざしている。



藤本 健太 議員

【Q 1】

本町の土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域の件数、対策は。

【A 1】

土砂災害警戒区域が268箇所、土砂災害特別警戒区域が232箇所。

対策は、ハザードマップでの確認、早目の避難の呼びかけを行っている。

また、砂防堰堤を38基、急傾斜地崩壊対策施設を5カ所整備している。

【Q 2】

今後のハード面における対策は。

【A 2】

平成30年7月豪雨災害で土石流が発生した13溪流を対象に砂防堰堤の整備が進んでおり、今年度中に工事が完了する予定。

【Q 3】

公助の取組は。

【A 3】

地域防災体制の整備、職員の研修機会の確保、防災関係機関との連携、災害に関する正確な情報収集と迅速かつ正確な伝達に取り組んでいる。

【Q 4】

今後の逆線引き（都市計画で定める区域区分を、市街化区域から市街化調整区域に変更すること）の取組は。

【A 4】

土地所有者の理解を得ることが望ましいため、広報紙やホームページで取組の周知を行い、必要に応じて地元説明会や公聴会を実施するなど取り組んでいく。

Q 子ども議会開催は

A 教育長

早期開催に向けて学校と調整を行う。

【Q 1】

先進事例などの調査は。

【A 1】

全国の地方議会子ども議会が開催されており、近隣では呉市、廿日市市、海田町で開催されている。

【Q 2】

教育委員会として子ども議会開催の意義はどのように考えているか。

【A 2】

児童生徒が考えや思いを表現する場であり、学習の動機づけと考える。また、まちづくりや町の未来について考えることができ、政治や地方政治への関心も高まると思われる。

保護者なども含め、町民に議場での活動を傍聴、ネット視聴してもらい、議会や行政の取組

を身近なものに感じてもらうこともできる。

【Q 3】

本町で子ども議会を開催する場合、どのような形態で行う予定なのか。

【A 3】

発表形式、質問形式、提案形式などがあるが、いずれにしても児童生徒が学習した内容について、発表・表現できる場として開催できるよう調整を図っていく。

【Q 4】

子ども議会をどのような教育につなげていくのか。

【A 4】

学校で実際に学んだことを児童生徒の視点、言葉でふるさと熊野をより良くし発表を行うことで本町への愛情、誇りをさらに醸成するものに結びつけていく。



Q 家庭用防犯カメラ設置に伴う補助金は

A 町長

令和7年度一般会計予算に計上した。

【Q1】最近、様々な犯罪が増加している。現状は。

【A1】令和6年12月末で侵入窃盗2件、住居侵入2件、自転車盗難15件、車上ねらい1件、器物損壊4件などとなっている。

【Q2】補助金事業の開始時期は。

【A2】令和7年7月までには、受付を開始したいと考えている。

【Q3】補助金事業の詳細は。

【A3】現在のところ、住宅に設置する防犯カメラ又は、録画機能付きインターホンのどちらか

を選び、1世帯につき1回のみの申請をしていただくことを想定している。

【Q4】補助金額は。

【A4】現在、補助要綱を調整中であり、確定したものではないが、補助率が2分の1、上限額を3万円で検討している。

【Q5】犯罪抑止、事件の早期解決においても有効な補助事業と思う。8年度も継続を要望する。

【A5】この事業は「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」を財源に実施する事業ため、財源がなくなる8年度以降も、本町にとって必要かをしっかり判断したいと考えている。

Q 消防屯所の維持管理の現状は

A 町長

屯所によって、町と自治会がそれぞれ管理している。

【Q1】東・西防災センターの整備に伴い初神自治会・東山自治会の消防屯所が移転し、町の管理に変わった。残りの8屯所は各自治会の負担により管理している。不公平である。屯所管理の補助金を支給すべきではないか。

【A1】「老人集会所等補助金交付要綱」では、管理や修繕の一部を各自治会に補助している。屯所はその要綱の付属設備とみなしており、この要綱による補助金の対象と考えている。

【Q2】要綱の「付属施設」の項目は集会所の倉庫等が対象となっているもので、屯所は対象外ではないか。

【A2】屯所は町としても重要なものと考えているので、対象と考えている。

【Q3】「老人集会所等補助金交付要綱」は老人集会所とコミュニティセンターに対する補助要綱を定めたもので、この要綱に屯所を含めることが理解できない。誰が見ても分かるよう早急に見直しを願う。

【A3】現状にあっていない項目やわかりにくい表現等については、必要に応じて見直しを検討する。

Q 熊野町の人口の推移と対策は

A 町長

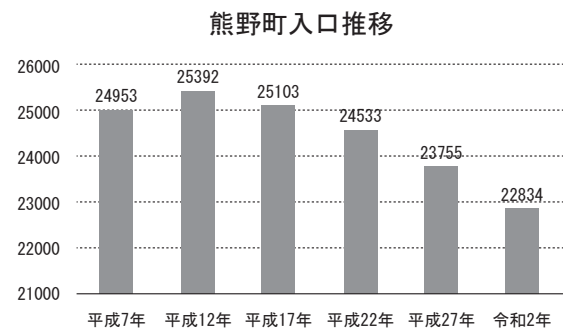
平成12年を境に減少に転じているが、総合計画で策定した施策に計画的に取り組んでいる。

【Q1】令和3年3月に策定した「第6次熊野町総合計画」では、国の推計にて5年後の令和12年に人口2万人を割り込んでさらに20年後の2045年には3割減の人口15,500人と推測されているが熊野町はどう予測しているのか。

【A1】本町では令和12年の目標人口を21,000人と定め、人口維持に計画的に取り組んでいる。この取り組みにより、令和27年に約17,700人、令和42年には15,000人を上回るビジョンとしている。

【Q2】広島県は転出超過が4年連続で全国最多となっている。今後も人口流出は続くと思われるが熊野町にその影響は出ているか。

【A2】今後も全国的な少子化の傾向が続くことが見込まれる。広島県からの人口流出が続くと仮定すると、本町への人口動態への影響は避けられないものとする。



Q 安全・安心まちづくり事業補助金とは

A 町長

地域住民が組織する団体が自主的に実施する生活の安全・安心の確保を目的としたものである。

【Q1】交付金の中でもっとも金額が大きいのが「安全・安心まちづくり事業補助金」で、上限額は各自治会一律20万円となっている。人口の多い地区と少ない地区との差が約7倍もあり不公平さを感じるが。

【A1】実施する事業は自治会ごとで違うことや、必要な資機材の調達には一定の費用が掛かることもあり、一律に上限を設けている。人口に比例した補助基準額という提案かと思うが、予算の増額を伴うことになり予算にも限りがあるため、理解いただきたい。

【Q2】本町の自治会加入率が74.5%とある。自治会は住民と行政の間に位置し行政の役割を

補完するはたらきがあり、行政よりもコンパクトに動けることも長所の一つだと考える。もっと加入率をあげる工夫をしなくてはならないと思うが。

【A2】加入率を上げる取り組みは必要であると考え。転入時などに配布する自治会勧誘のチラシをリニューアル中で新年度より更新予定である。引き続き自治会と連携し、町民と行政の協働のまちづくりを進めていく。





大瀬戸 宏樹 議員

Q 待機児童と保育現場の現状と課題、その施策は

A 町 長

施設整備、保育士確保などの環境づくりを支援していく。

【Q 1】

保育所に希望通りに入所できない保護者、子供が本町に多数いると聞か、待機児童の現状は。

【A 1】

国の定義による4月1日の待機児童はゼロで続いている。6年度9月頃には3人、国の定義以外で58人出ている。

【Q 2】

どういった施策を打つのか。

【A 2】

6年度は淳教幼稚園の認定こども園へ移行する施設整備の支援、7年度はくまの中央保育園に2歳児以下の受け入れのための増築を支援するなどしていく。

【Q 3】

設備は整備できても人材不足はいまだに深刻だが、保育士の確保策は。しっかりと予算措置をして余裕のある保育環境を整備することが急務ではないか。

【A 3】

その通りだ。6年度の5歳以下の人口推計より実数は89人増えている現状からも、7年度にはさらに力を入れていきたい。

【Q 4】

7年度の予算措置はしているか。

【A 4】

国県の補助金はもちろん、他市町独自の支援を参考にするなど、しっかりした財政支援を計画している。場合によっては7年度中に補正予算を組んででも対応したい。



水原 耕一 議員

Q 災害対策の進捗状況は

A 建設農林部長

災害に強い都市構造の形成に向け事業を推進している。

【Q 1】

町内の通学路に200箇所以上の危険なブロック塀があるが撤去率が低い対策は。

【A 1】

補助金制度の活用をホームページ、広報、自治会連合会の会議で周知していく。

【Q 2】

今年度から始まった熊野町木造住宅耐震化促進事業は大変意味のある事業である。

補助限度額最大で100万円の補助があるが、今年度の相談件数は。

【A 2】

今年度の相談件数は10件で予算の都合上1件しか交付出来なかった。来年度は予算を増やし3件程度の受け入れを可能にしていきたい。

【Q 3】

皇帝ハイツ裏山の砂防堰堤設置事業が決まって4年経過したが、進捗状況は。

【A 3】

来年度には現地測量などに着手する予定と伺っている。今後も早期の完成を要望していく。

【Q 4】

最近道路の陥没事故が多い。老朽管の調査はしているか。

【A 4】

今年1月に発生した八潮市の道路陥没をうけ、道路パトロールや緊急点検を実施した。また、熊野団地の老朽管路についてカメラ調査を行っている。今後、他の老朽管路についても調査していく。

Q 大原ハイツ避難路隣接町有地の整備を

A 町 長

意見や要望をもとに慎重に計画していく。



沖田 ゆかり 議員

【Q 1】

10年以上前からの、懸案事項である町民グラウンド駐車場の整備をするべきではないか。

【A 1】

近隣住民などの交通に支障をきたしているため検討している。

【Q 2】

現在、小中学校のグラウンドをドクターヘリのヘリポートとして活用しているが、子どもたちの教育環境に負担を与えている。町民の命を守り、子どもたちの教育環境を守るためにも、ヘリポートの整備をしていただきたいが。

【A 2】

子どもたちや近隣住民に迷惑をかけている。今後、検討していきたい。

【Q 3】

筆の里工房周辺整備事業に注力されているが、町民の安心安全のため、大原ハイツ避難路隣接町有地の整備を優先するべきではないか。

【A 3】

災害復旧やコロナなどにお金がかかっており遅れているが、教育委員会とともに考え検討していく。もう少し待っていただきたい。



▲ドクターヘリ

Q 女性支援の充実を

A 町 長

適切な支援に繋げるよう取り組んでいる。

【Q 1】

働く女性の健康課題について、三原市では時間を問わず相談できる女性の健康LINEサポート事業に取り組んでいる。熊野町でも取り組んでいただきたいが。

【A 1】

大変重要な取り組みであり、今後しっかり考えていく。

【Q 2】

以前にも質問したが、小中学校の女子トイレに生理用品を設置していただくことについて、検討したのか。海田町でも設置するようだが。

【A 2】

学校擁護部会等と協議したが、現時点では管理が難しいので保健室へ児童、生徒に取りにきてもらう。

今後は、女子トイレに生理用品を設置する方向で検討を進める。

【Q 3】

災害時における避難所での女性への支援について、被害防止のための防犯ブザーは備蓄しているのか。

【A 3】

中央、西、東の防災センターに備蓄している。



▲防犯ブザー

伝統工芸を活かした道の駅と移住・定住先進地を視察調査

総務建設委員会

2月6日から7日までの2日間、高知県の道の駅・土佐和紙工芸村「くらうど」^{しまんとちょう}と四万十町の移住・定住対策について視察調査を行いました。

道の駅・土佐和紙工芸村くらうど

当施設は、土佐の伝統工芸である手漉き和紙体験をはじめ、はた織体験、夏には施設の前を流れる仁淀ブルーと呼ばれる清流・仁淀川での川遊びやキャンプ、カヌーも体験できます。

施設内には、農産物の直販所や蔵を活用したギャラリーのほか、道の駅には珍しい薬湯風呂のクアハウスやホテル、コース料理を提供するレストラン等も併設されています。

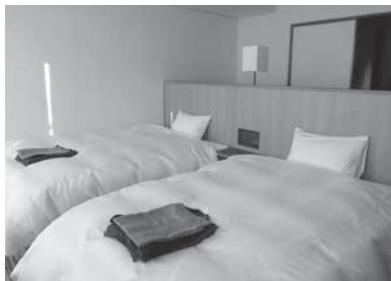
高知市内から30分という地理的条件にも恵まれていることから、現在は外国人観光客の誘致（インバウンド）と滞在時間の延伸、観光消費額の増加に取り組まれています。



上空から見た道の駅



手漉き和紙の体験実習館



ホテル内の客室

四万十町の移住・定住対策

人口約1万5千人の四万十町は、平成23年度から移住定住促進を町の重要施策として位置づけ、多彩な移住促進策と子育て支援、空き家活用事業、新規就農支援等の仕事づくりなど様々な施策を展開した結果、令和5年度までの13年間で移住者1,440人の実績を上げています。

宝島社が実施する『住みたい田舎ベストランキング』にも毎年上位にランクされています。



町の担当職員から詳しく説明を受けました



四万十町の移住定住ガイドブック



視察を終えて四万十町役場前で

今回の行政視察を踏まえ、本町が進める『筆の里工房周辺整備事業』と『移住・定住対策』について、今後の提案につなげたいと考えています。

広報コンクール最優秀賞受賞！



第42回広島県町村議会広報コンクールにおいて、くまの議会だより第129号（令和5年2月発刊）が写真部門で最優秀賞に選ばれました。



今後もみなさまのお手に取っていただけるよう、見やすい・分かりやすい議会だよりを目指し、広報委員一丸となって取り組んでまいります。

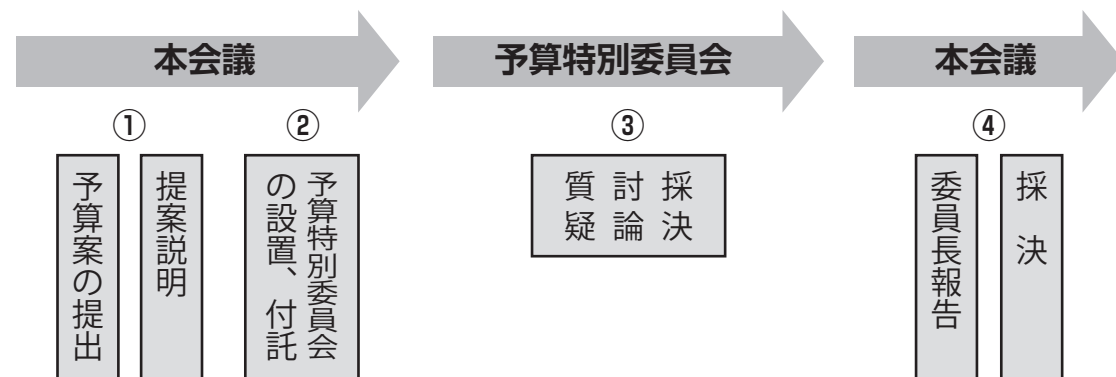


「予算特別委員会」とは

議会では、町から提出された新年度予算案が町民の皆さまの意見を反映したものであるかなどを科目毎に詳細に審議するため、予算特別委員会を設置し慎重に審査を行います。

熊野町の予算審議の流れ

- ①議会に対し町長が予算案を提出し、本会議で提案説明をします。
- ②全議員をもって構成する予算特別委員会を設置し、予算案の審査を付託します。
- ③委員会では、二つの分科会（総務建設分科会、文教福祉分科会）を設置し、予算案や町が実施する事業内容について議員が質疑等を行い、より詳しく掘り下げたり、分科会としての討論を行い、採決します。
- ④予算特別委員会の委員長は、委員会審査の経過と結果を本会議で報告します。本会議で採決を行い、可決されれば予算が決まり執行されます。



※予算は議会の議決によって決められます。予算案を議会へ提案する権限は町長にありますが、議会で議決されない限り執行することができません。

がんばる保育現場!!

⑥認定こども園 聖徳幼稚園

☆子どもと職員、保護者がともに育ちあう『共育』を大切にしています。



おつとめ

虫取り!

外遊び!



浄土真宗の教えに基づいた保育の実践をし、お陰様と感謝する心を育てます。



全面芝生の園庭! 思いっきり体を動かして遊べ、大けがをしにくい環境。虫たちもたくさん住んでいます。



ひろしま自然保育認証園。私たちが暮らす地球の自然を大切にする心を育みます。

地域の皆さまへ

未就園児を対象とした園庭開放を実施しています(毎週木曜日)。予約は不要ですが、実施のない日もありますので園のInstagramをご覧ください。随時、園見学も行っています。予約が必要ですので、園までご連絡ください。地域の方を対象としたオープンスペースも実施しています。ぜひ、遊びにお越しください。



取材: 世良・藤本

題字の揮ごう者



熊野中学校3年生
佐伯 優衣さん

あ と が き

新年度がスタートしました。3月議会では、令和7年度当初予算案を審議しました。本格化する筆の里工房北側の観光交流拠点づくり、教育・保育の環境整備、山側団地等から幹線道路への避難路整備や防災・減災に向けた取り組みなどで、予算額は過去最大の119億7900万円となりました。

議会としては、熊野町が子育て世代から選ばれるまちとなり、町民の皆様が安全で安心して暮らせるまちづくりの実現に向け、計画的な予算執行と事業の実施を厳しくチェックしてまいります。

光 本 一 也

次の定例会は 6月3日(火曜日)
開会を予定しています



「くまの議会だより」は再生紙と、認定を受けた環境にやさしい環境対応型インキを使用して印刷されています。